

# ドレンデストロイヤー®

(エアコンプレッサー専用ドレン油水分離装置)

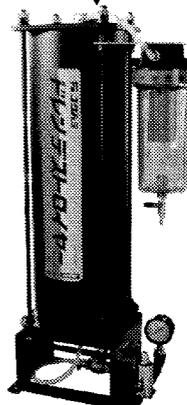
ドレンの処理はフクハラにお任せください。

**無電源・低コスト・低ランニング  
簡単メンテナンス・産廃処理不要**

科学技術庁長官賞

中小企業庁長官奨励賞

受賞商品



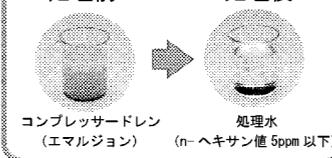
**XSD25**

適用コンプレッサー 25kW以下

## 特長

1. 水質汚濁防止法の排水基準5ppm以下をクリアー。大きな処理量と安価な処理費
2. 大きな清水確認槽付  
処理水の清水確認が容易にできます。
3. すべての機種にドレン分離槽を装備。  
フィルター槽の寿命延長、ランニングコスト低減。
4. 貴社での産廃処理不要・リユース、  
エコサイクル、サーマルリサイクル

処理前 → 処理後



コンプレッサードレン (エマルジョン) → 処理水 (n-ヘキサン値 5ppm 以下)

処理装置を導入後、エマルジョンを処理しきれずにお困りのユーザー様、ご相談ください。

フクハラのドレン処理装置はすべての機種にドレン分離槽を装備。  
フィルター槽の長寿命化、ランニングコスト低減。2.2円/L (75ppm時)

発売以来31年、豊富なノウハウがあります。

産廃経費節減 適用コンプレッサー 7.5kW以下~1100kW 全19種ラインナップ

## ■全国納入・稼働実績多数

■ISO14001 認証取得済

■平成21年度 神奈川県優良工場認定

検索サイトからは

フクハラ ドレン

検索

感動をもたらす

省エネ、環境関連機器をデザインする

**FR 株式会社 フクハラ**

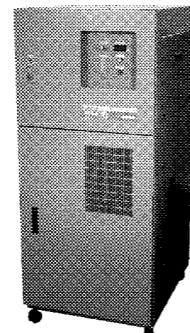
# MAX N2® 窒素ガス発生装置

窒素ガスの製造はフクハラにお任せください。

窒素ガスは空気を原料に自家生産の時代

コスト高の窒素ガスボンベは不要です。

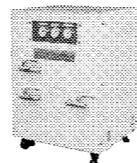
- ① 膜分離方式 97~99% ..... 12機種  
(流量: 16 ~ 245NL/min)
- ② PSA方式 99~99.99% ..... 78機種  
(流量: 6 ~ 2,500NL/min)



**MAX N2**  
窒素ガス発生装置  
(PSA式)  
窒素ガス濃度  
99~99.99%



**MAX O2F**  
酸素吸収装置  
窒素ガス濃度を  
99.999%以上  
にする装置



**N2BO-16**  
窒素ガス専用プースター  
**MAX. 1.6MPa**  
窒素ガス圧力を最大  
2倍に増圧する装置  
※6倍仕様も有り

流量: 6~2,500NL/min 全90機種

神奈川県工業技術開発大賞奨励賞

関東経済産業局長賞

受賞商品

# 業界共通 I C タグで容器管理



ICタグが付けられたアルゴン充填ライン

産業ガスの供給、貯蔵には大きく分けて三つの方法がある。一つはコンピナート敷地内などでプラントを設置し、パイプラインで供給するパイピング。次に大量供給できるのが液化ガスをタンクローリーで運び、液化ガス貯槽にため、気化して使用する方法。そして最も小規模なのが、液化ガスを充填工場でガスシリンダーと呼ばれる容器、いわゆるガスボンベに充填して利用する方法だ。

このICタグには容器別の識別情報、高圧ガス保安法に基づく管理情報、物流管理のための移動履歴情報などが書き込める。ガス容器の使用期限や耐圧期限が徹底管理できるうえ、容器の移動履歴の迅速な把握による効率化、放置容器による事故撲滅など多くのメリットが期待できる「(J) I M G A 担当者」という。

## ガスボンベ履歴把握

## 全国に拡大へ

国内でのガス容器の流通量は1500万本とも言われる。従来はガス容器のバーコード管理が進んできたが、導入各社が

独自に進めたことから標準化されておらずシステム間の互換性が乏しい。複数メーカーの製品を取り扱う現場ではかえって複雑になることもあったという。

J I M G A では業界あがりの取り組みとするため、ICタグの管理者に必要な世界共通のナンバーを取得、全体を一つのナンバーで管理することで、ICタグを導入する企業の初期コスト低減につなげる。これまでに会員企業の現場で、容器を搭載したトラックが定置式アンテナの下を通過する際にタグの情報を読み取れるかなどの試験を積み重ねてきた。現在14万本の容器に装着されているが、今後はメーカーからガス販売業者まで全国規模で広がっていくことが課題となる。「2015年度までに310万個の装着を目標」と(同)として、普及促進を図っていく。

# J I M G A の取り組み

## 産業ガス特集

本社・工場 〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西1-15-5

TEL 045(363)7373 FAX 045(363)6275

URL: <http://www.fukuhara-net.co.jp/>

E-mail: [eigyo@fukuhara-net.co.jp](mailto:eigyo@fukuhara-net.co.jp)